

20240213 すさみ町×河合町協定

1	連携に至った経緯について	紀伊半島のほぼ南端に位置する「すさみ町」から、特産品のおいしいイノブタや海産物を取り入れ、河合町の「まほろば夢市」とのコラボレーションで、いつもの新鮮な野菜とともに、歳末産直市を開催した。すさみ町のブランド肉「イブの恵み」（イノシシと豚の良いところを併せ持ったイノブタ）の串焼き・あぶらののったさんま寿司、また河合町の野菜と「イブの恵み」を使った豚汁など「すさみ町」の味を楽しんで頂くブースの出店等を行った。 平成23年12月24日（土） イベント名：歳末産直市 共催：まほろば夢市&すさみ町 NPO 法人魅来づくりわかやま 場所：総合スポーツ公園駐車場 上記イベントを契機に河合町の主要イベントである産直市として発展し、すさみ町産の物産販売を町内でできる仕組みを整えたことで、両町の交流が深まった。 平成26年度からは小学4年生から中学3年生を対象とした夏休みの課外学習体験（寺子屋教室）としてすさみ町へ訪問している。 このような住民交流から両町の地域間交流の発展を経て平成28年度に「河合町・すさみ町災害時相互応援協力」を締結し、災害時の物資供給などの協力を整えた。 さらに両町の魅力を向上させるために今回の包括連携へと双方合意し進めるに至った。
2	連携することで期待する効果について	多世代にわたる住民同士、さらに職員同士の交流も含めて繋がりを深めつつ、両町にある資源、ない資源を洗い出し、それぞれ補える仕組みを充実させることで両町の魅力を向上できる。それによって人の流れも活発化でき関係人口の増加も期待できる。
3	連携協定の期間について	期限を令和6年3月31日としているが、単発な連携ではなく継続的な取り組みが必要になるため、双方から有効期間終了の意思表示がない限り1年更新する。
4	締結時期について	両町の魅力向上に資するため、本来もっと早い時期に協定を結びたいところであったが、コロナ禍によって両町の事業が休止などになり協定の展開も進まない状況となったが、コロナ明けで行動制限がなくなり事業も再開されたため、連携内容については双方協議のうえ、できるだけ早い段階で進めていくことが住民サービスにとっても有効であることから年度内に締結する運びとなった。